

平成28年度 第1回 和泉総合高校 学校協議会 記録

日時 平成28年7月23日(土) 9:30~11:20

場所 本校 応接室

出席者 委員 (敬称略)

古川 恵美 (会長) 福喜多 弘 一井 正次 竹田 竜彦

松尾 浩子 川端 幹子

学校・事務局

校長 教頭 (2名) 首席 (進路指導部長) 教務部長 生徒指導部長

1. 挨拶 校長挨拶、出席者の自己紹介

2. 学校報告 (校長)

①学校経営

昨年と基本的には同じであるが、“自己と他者を大切にする”“地域とともに育つ”を最重点となるように表現を変えた。人間関係とコミュニケーションの取り方を学ぶことが大切である。また「安全安心な学校づくり」「基礎学力育成」「キャリアプランニング」を三つの核として挙げた、具体的には人間関係についての研修を実施するなどの取り組みをしている。

学校は落ちつき遅刻件数も確実に減少している。教室できちんと授業を受ける体制が確立しつつあるので、次は授業づくりに取り組む段階である。

②進路指導

学校推薦で63名、自己開拓で9名の66名、今春の卒業の約半数が就職である。学校推薦のうち、指定校求人が43名、公開求人が18名、ハローワークが2名である。指定校求人は製造業が多く、販売職(小売業)は公開求人が多い。また地域的に、製造・物流・警備の業種が多い。閑空関係で女子の警備(セキュリティ)職も増えている。他に理美容や自動車整備への就職もある。進学は大学短大9名でほぼ指定校である。専門学校は25名で、理美容・自動車整備・調理などである。

今年の3年のうち、現時点で就職希望は73名である。それに対して指定校求人が昨年の1.5倍で非常に増えた、就職指導は、保護者も入った懇談を現在行っている。希望が決まれば、応募前職場見学に進む。昨年も見学の結果で希望を変えた生徒がいるので、しっかりと指導している。また面接指導は教員だけではなく、指導員も含め何度も行っている。就職選考は、面接以外に筆記テストや作文以外に、適性検査としてSPIをすることがあり難しくなっている。就職希望の傾向はまず近隣を選んでいる。

③生徒指導

今年度、SST(ソーシャルスキル トレーニング)の研修を行った。現在の生徒の傾向として、他者と折り合いをつけることが難しく、非難されると全否定と受け取る生徒が増えているとのことであった。価値観や行動規範が違う生徒への指導は難しく、研修の効果がすぐに出るわけではないが、生活指導部が教材をまとめるなど取り組んでいきたい。

生徒会では、生徒の発意で九州の地震災害に対する募金活動をおこなった。社会への貢献という意識が育ってきている。

今年も6月以降に遅刻が増えた。遅刻が増えると学校生活の他の面でも問題が増えてくる。学校と家庭の協力が必要である。

④教務

2年の1/3の時間がセットと呼ばれる選択科目群である。それが3年にも継続される。例年、生活(家庭)の人気の高いが、今年の1年の調査では機械加工が非常に増えた。

3年の選択に来年度から「家庭発展」を追加するなどの教育課程の改善を行っている。他に単位履修規定の見直しなどもしつつ、授業規律の確立をすすめている。

3 協議 進行＝古川会長

○他高に比べ就職の指導が非常に丁寧であるとPTA 地区連絡会で感じた。ポリテクだけでなく、他の公立の職業訓練校なども進めてほしい。

就職指導で三者懇談をしている高校はすくないが、本校は以前より行っている。職業訓練施設は、保護者も含め地域性が強い結果、ポロテクなどに限られてしまっている。

経済的な面で進学が難しい場合、整備士などは専門学校ではなく就職して学ぶことも進めている。奨学金を使って進学することも是非があるので、個々に対応して指導している。

○見習いから育てていく力のある企業は少ない。専門学校など即戦力とならないと就職は難しい時代になっている。また大学や専門学校に行っても、仕事に対する適性がない場合もある。一人ひとりの生徒に応じての指導が必要になっている。

○大学では、3回生になり就職が視野に入ると、話をしてくれる先生の所に学生が押し寄せてくる。よく勉強しているが、個人個人に応じてもらえないと不安になるようだ。

○企業で採用面接をすると、真面目さはわかるが服装があっていない人などが見受けられる。面接練習は絶対ひつようだ。

面接練習では1分前に来たら怒る。本番を見据えて練習をしている。それで生徒が成長していると思う。

○遅刻などの改善は外部からもよく見えている。携帯電話の扱いはどのようにしているか。

授業中は禁止で指導している。携帯電話(ガラケー)の時よりスマホの時代になってから、ケジメがなくなったが、生徒指導の努力で今は授業中の使用はほとんどなくなった。

○スマホの使い方が問題になっている反面、必要な場面もある。難しいが努力をお願いします。

○子供が仕事について、場違いな言葉遣いの人のことを訴えていた。高校で人間関係を学ぶ必要がある。

○1学年6クラスの定員を9クラスにすることで、担任数や授業時間数でかなり負担がふえているのではないか。

芸術や体育はさらに展開を増やしている。すべて校内の努力でしているので、先生の負担はかなり増加している。

○生徒会で募金活動をしているとのことだか、学校が変わるとき生徒会がキーになるという。

○SSSTの取り組みに期待している。生徒にとって大切にされているという体験も必要である。先生は、大げさにでもアクターとして演じてほしい。

4 連絡 次回案内 11/11(金)